

6月3日 菊池農業高校 生徒が文化会館を花で彩る

菊池農業高校の生徒8人が、市文化会館の花壇の花を植え替えました。12月に植えた花や雑草を取り除き、色鮮やかなマリーゴールドやポーチュラカなどを手際よく植え替えていました。生徒の皆さん、ありがとうございました。



文化会館を利用される際は、鮮やかな花をお楽しみください

6月11日 菊池幼稚園、泗水小学校 子どもの読書活動推進に寄与

菊池幼稚園と泗水小学校が、文部科学大臣表彰を受賞しました。子どもの読書活動についての関心と理解を深め、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高める活動を推進し、特色ある優れた実践が評価されたものです。



1_ 菊池幼稚園 ㊦から横田壽美理事長、永田奈美園長 2_ 泗水小学校 ㊦から河野圭一校長、福古里加子司書教諭

6月11日 「父の日に牛乳を贈ろう」キャンペーン 牛乳の消費拡大を目指して

熊本酪農業協同組合女性部とJA菊池酪農女性部が「父の日に牛乳を贈ろう」キャンペーンの一環で市役所を訪問。消費拡大を目指して毎年実施しているもので、メンバーから江頭市長に牛乳が贈られました。



熊本酪農協女性部の岡村久子部長は(㊦から2番目)は「これからも毎日おいしい牛乳を届けられるよう努力していきます」と話しました

6月3日 岩本神楽保存会 地域の伝統文化の継承を応援

岩本神楽保存会に、(公財)明治安田クオリティオブライフ文化財団から「地域の伝統文化」助成金が贈られました。これは、同財団が応募者の中から民俗芸能・技術の継承や後継者育成に努力している団体や個人を選び、助成するものです。



会長の牛島豊成さん(岩本)㊦は「岩本神楽に欠かせない太鼓の修繕・購入費にあて、神楽の継承のため有効に活用します」と話しました

6月11日 第18回「いじめ防止標語コンテスト」 いじめのない世界のために

坂本緋音さん(当時旭志小6年)が「いじめ防止標語コンテスト」で全国賞を受賞。本コンテストは、笑顔あふれる学校作りの推進や貢献を目的に開催されています。作品【「ノリわり!」深くささったその言葉 いじめじゃないの? 本当に?】



㊦から、旭志小学校の高尾和史校長、江頭実市長、坂本さん、音光寺以章教育長、旭志中学校の原田英樹校長

6月11日 長年の功績をたたえて 藤木徳昭さんが黄綬褒章を受賞

藤木徳昭さん(富出分)は(公社)熊本県トラック協会理事や同協会菊池支部長などを歴任。後進の指導にも熱心に取り組み、安全意識の向上に大きく貢献するなど、長年にわたる自動車運送業での活躍が高く評価されました。



藤木さんは「これからも自動車運送業の発展のために、微力ながら貢献していこうと思います」と話しました

5月17日 新羅慎ニートーク&ライブ 音楽を楽しむ一夜

新羅慎ニートーク&ライブが菊池神社で開催され、湘南乃風の若旦那こと新羅慎二さんが菊池を訪れました。BOOKS Vintage&Roaster(亘)の代表・亀崎修一さんが主催したイベントで、県内外から120人のファンが集まりました。



亀崎さんは「去年よりも全体的に時間を伸ばしたことで、皆さんに音楽をより楽しんでもらうことができました」と話しました

5月31日 うぶとも農園カフェ 千豊河原でホタルを観賞

千豊河原近くの「うぶとも農園カフェ」でホタル観賞会が開催されました。カフェを運営する上野智美さん(大琳寺)が主催し、4年連続で開催。弁当や軽食を食べながら、ほたる夜想曲保存会の演舞や幻想的なホタルを観賞しました。



主催した上野さんは「今年も開催できてうれしい。来年も開催できるように、自然環境を大切にしていきたいです」と話しました

6月2日 選挙管理委員会 長年の功績をたたえて

市選挙管理委員会の安武昭二委員長(伊萩)、高田早苗職務代理者(上赤星)、古閑昭二郎委員(甲佐町)に、県都市選挙管理委員会連合会から永年勤続表彰が授与されました。3人は長年にわたり選挙の管理執行に尽力しました。



安武委員長㊦と高田職務代理者㊦は8年、古閑委員㊦は12年間、委員を勤め、公平公正な選挙運営に寄与しました

1月9日 菊池広域連合消防本部 多くの命が救われることを願って

宮崎県に住む夫婦から菊池広域連合消防本部へ高度救命資機材を備えた高規格救急車1台が寄贈されました。親戚がお世話になった自治体の救急医療体制の充実につながってもらいたいとの思いで贈られました。



車体には親戚の名前と桜の花が描かれています

5月25日 KDS菊池自動車学校 バス運転手不足の解消に向けて

KDS菊池自動車学校で、県内バス事業者5社合同説明会とバス運転体験会が行われました。九州産交バス・産交バス・熊本バス・熊本都市バス・熊本電鉄バスが、運転手不足の解消につなげるのが目的で、今回で4回目の開催です。



今回は県内外から25人が参加。今後も開催を予定しています

6月1日 菊池の歴史を後世に伝える ムラサキの復活を願って

旭志川辺の畑で、染色に使われるムラサキの苗の植え付けを行いました。菊池でムラサキの普及活動に取り組む坂本博さん(高野瀬)や村田達郎さん(西正観寺)らが主催し、市民や菊池農業高校の生徒など、約20人が参加しました。



菊池農業高校2年生の清水鈴花さんは「土に石灰を混ぜる栽培方法は、学校のムラサキ栽培でもやってみたいです」と話しました